

冬季流行感染症の 病院内感染を防ぐために（お願い）

冬場は、インフルエンザや感染性胃腸炎などの感染症が流行する時期です。群馬県立小児医療センターでは、免疫力のない患者様が多く通院されており、感染対策を強化しております。病院内で感染症が流行しないように、また当院を利用された方が感染症にかからないように、1月12日～3月31日の期間はマスク着用ができる方は、**マスク着用での受診・ご面会**にご協力をお願い致します。

1. 外来受診について



- 発熱がある場合は、受診前に外来（電話：0279-52-3551）へご連絡ください。
- 受診前の体温測定をお願い致します。
- 咳、くしゃみ、のどの痛み、鼻水、だるさなどの症状がある方は、受付に申し出てください。
- 吐き気、嘔吐、下痢などの症状がある方は、受付に申し出てください。
- 1週間以内にインフルエンザと診断された方やインフルエンザ治療中の方は、受付に申し出てください。

2. 咳エチケットについて

- 咳・くしゃみがある場合はマスクを着用してください。
- 鼻をかんだ後は、手洗いを実施してください。
- 潜伏期間中のウイルス持ち込みを防ぐため、病院職員もマスクを着用して対応をさせていただきます。



3. 手の消毒について

- 病院内の各所に消毒薬を配置しております。病院に入る時、またお帰りになる時は、手を消毒してください。



4. 面会について

- 1月12日～3月31日の期間は**マスク着用でのご面会**をお願い致します。
- マスクは1F売店と第一・第二病棟間の自販機で販売しております。
- ご面会はお両親・祖父母の方以外にご遠慮していただいております。
- 付き添いご家族の方は、入院時にマスクの準備をお願い致します。
- 下のチェックリストに該当する方は、病原体をもちこむ可能性があります。入院患者さんを感染から守るため、面会にご遠慮ください（緊急の場合は、当該病棟看護師にご相談ください）。

【面会者チェックリスト】

- 現在、発熱・咳・鼻汁・のどの痛み・発疹・だるさなどの症状がある方
- 現在、吐き気・おう吐・下痢などの症状がある方
- インフルエンザと診断されてから、解熱後2日の経過かつ診断後5日経過していない方

※病棟によってはマスク着用の期間を変更させていただく場合がございます。ご協力をお願い致します。

